

巻頭言



内閣府認証 NPO法人
 ジャパン メディカル ケア アソシエーション
 (JMCA)

理事長
 西川 雅夫

小・中・高の学校教育の大切さ

国際社会における日本のポジションというか、国の勢いが弱体化の方向に向っているのは確かな事象となっております。

教育水準でもOECD加盟41か国中14位(2022年6月現在、1位はフィンランドとなっております)かつ1位の1位はどうかになったのかというように下がる一方です。SDGs 4は「質の高い教育をみんなに」と訳されていますが、我が国ではどうなっているのでしょうか。

義務教育の徹底が奏功し、日本の文盲率は世界で一番低いとのことですが、全体的な教育水準との乖離の理由はどこにあるのでしょうか。

それを「なんでやねん」と突き詰めて考える必要があります。我々を含めた戦後からの教育内容の編纂の中に全てが集約されているように思われます。誰の意思なのか、智慧から知識に、発想から隷属に、戦後78年という月日の流れの中で、日本人であるという誇りがそれとなく失われ、本当の良さが薄れてきていることを考えるにつけ、教育の現場の編纂が全てを物語っているように思われるのです。

「三つ子の魂百まで」という諺がありますが、人間の脳

細胞がほぼ完成に近づくのは3歳までです。そして、10歳くらいまでには人格がほぼ形成されると言われています。

教育の現場という立場から考えてみますと、知識の詰め込み・受験に合格するためのシステム(敢えてシステムとします)になっていくように思えてなりません。知識は確かに必要ですが、知識より大切なものは智慧ではないでしょうか。知識は答えを出しませんが、智慧は答えそのものです。

PDCという言葉は、Plan-Do-Checkの頭文字です。最近ではActionを加えてPDCAとも表現されています。Plan-Do-CheckにSee(解る)を加えていた学者もいたように記憶しています。「P」という言葉の理解が我が国では「計画や企画」とされているのに対し、欧米の教育先進国では「仮説」と考えられていると聞きました。「計画や企画」ではコピペとなっているのではないのでしょうか。「コピペならChat」でとなれば金太郎飴を作るだけです。「仮説」だから「実証」する必要があり、新しい発見があり智慧に繋がると思われてなりません。

2023年は、阪神タイガースの38年ぶりの日本一に沸きあがりました。岡田監督の昭和的な指導が選手たちに新鮮に映ったとのこと。昭和が古いと捨て去るのではなく、その昭和の考え方・発想の仕方・行動力が世界に冠たる日本を作り上げたと思えるのです。小・中・高の学校教育という最も大切なときに、今一度、教育の原点として、発想する力・考える力・表現できる力を確保させていただきたいのです。

考えるというプロセスが大切です。一方的に記憶させる教育から何事についても常に疑問を持ち「なんでやねん」と問いただす思考力に溢れた人間形成への教育を切望しています。



CONTENTS

- 2 巻頭言
- 3 我が市、わが町 SDGsへの取り組み・・・大阪市
- 6 ブルーオーシャン・ドームと2025大阪・関西万博
 サラヤ(株) 社長 更家悠介氏
- 8 吉本興業ホールディングス(株) 元代表取締役会長 大崎洋氏
 × JMCA 西川雅夫 理事長 SDGs対談
- 10 国産材活用でサステナブルな社会へ 今井敏 元 林野庁長官
- 14 長寿時代を生き抜くためのメディカルフィットネス
 田中喜代次 筑波大学名誉教授
- 16 水と光の役割 アクアフォトミクスラボ 重岡昌吾 代表
- 18 Health Tourism 宮津市
- 20 エム・シーシー食品(株) / 関西学院SDGs ユースアイデア2023
- 21 シモダフランチ(株) / 関西学院SDGs ユースアイデア2023
- 22 セキセイ(株) / 関西学院SDGs ユースアイデア2023